



I.B.MUSEUM SaaS リニューアル情報 EXPRESS

発行元:早稲田システム開発株式会社 東京都新宿区高田馬場4-40-17 tel.03-6457-8585

✉ mapps@waseda.co.jp 🏠 www.waseda.co.jp/

Vol.1 2022.01.31 今回のテーマ | リニューアル計画概要とログイン画面

2022年12月（予定）、I.B.MUSEUM SaaSが変わります。

日頃は〈I.B.MUSEUM SaaS〉をご利用いただき、誠にありがとうございます。

2010年11月にサービスを開始した〈I.B.MUSEUM SaaS〉は、お陰様で2021年9月末日時点でご導入施設が400館を突破いたしました。ミュージアム専用の収蔵品管理システムとしては文字通り桁違いのユーザ数となりますが、これもひとえに皆様のご愛顧の賜物です。まずは改めましてお礼を申し上げます。

さて、いわゆるクラウドサービスである〈I.B.MUSEUM SaaS〉は、10年以上の歳月の中で、数十回にわたり機能改善を積み重ねてきました。しかしながら、日進月歩のデジタル技術の中、現在のIT文化に即応する環境を維持するには、アップデートのみでは限界が見え始めております。そこで弊社では、現在までに実装済みの機能はそのままに、将来の発展を見据えてユーザインターフェイスの全面リニューアルを決定いたしました。

ただ、一般的に、ソフトウェアのバージョンアップの際などには新たな画面デザインや操作性に戸惑うことが多いものです。〈I.B.MUSEUM SaaS〉は、収蔵品管理に加えてインターネット公開や来館者サービスなど、多くの館で多様な業務の中核を担うシステムとしてお使いいただいておりますので、混乱なく操作いただけるようサポートをご用意する必要があると考えております。

そこで、今年の年末に実施見込みのリニューアルまで、開発の進捗や「ビフォー&アフター」の様子などを事前にお伝えするために、『I.B.MUSEUM SaaSリニューアル情報EXPRESS』と題したニュースレターを月1回程度のペースで発行することいたしました。

第1回となる今回は、リニューアル計画の全体像と、システムにアクセスして最初に見るページである「ログイン画面」の新旧比較をご紹介します。まずはリニューアル決定に至った意図や焦点、日程などのアウトラインをお伝えいたします。



リニューアルの背景



多機能化=内部要因、環境変化=外部要因。 両面から必要となったインターフェイスの刷新。

日頃サービス開始から10年以上が経過した〈I.B.MUSEUM SaaS〉ですが、これまで機能の改善・追加を繰り返して参りましたので、今日の視点で見ても「多機能である」とご評価いただける機能性を維持しております。操作画面も、新しいとは言えないまでも、管理システムのスタンダードなインターフェイスとして現在のところは支障はありません。

しかしながら、機能が充実するたびに画面上のボタン類も増え続け、徐々に複雑に見えるようになってきました。また、通信速度や品質が劇的に向上した近年は、パソコン以外にタブレット端末やスマートフォンでも操作することが当たり前となりました。同時に、操作環境も大きく変化し、現在では「収蔵庫の中でタブレットを使って〈I.B.MUSEUM SaaS〉にアクセスする」というスタイルも定着しています。

システム周辺で進む環境変化と、システム自身の多機能化。両者が同時進行する中で複雑さを増してきた操作画面を一度整理し、モバイル端末との親和性も確保した使い勝手の向上を。今回のリニューアルは、こうした背景から実施することになりました。現在は、社内の開発チームのほか、社外からも専門家を招聘。「より見やすく、より分かりやすく、より使いやすいミュージアムのシステム像」を目指して開発を進めております。

リニューアルのポイント



モダンでシンプル、より直感的な環境へ。 時短化に貢献できるモデルチェンジを。

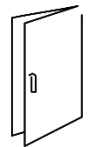
今回のユーザインターフェイスのリニューアルでは、主に3つの大方針に基づいています。個々の内容は以下の通りです。

1. 作業効率向上

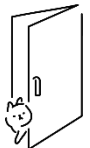
たとえば、特定の資料情報を探す際、現在は概ね以下の段階を経ることになります。

検索ワードの入力欄が表示されるまでに、3つの画面を経由します。それぞれの画面の性質を考えれば当然のプロセスではあるのですが、もっと簡易化・時短化できないか…と考えました。もしも可能なら、この一連の流れ自体に手を加えざるを得ません。結果として、ユーザインターフェイスの基本部分からのリニューアルが不可欠になるわけです。

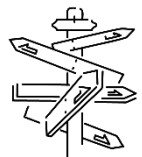
クリック1 ログイン



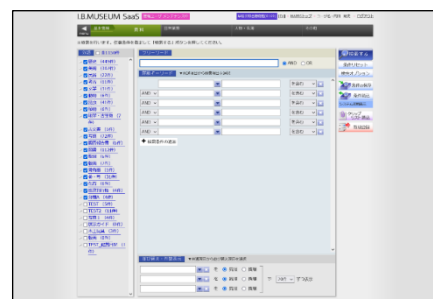
クリック2 エントランスからシステムへ



クリック3 メニューがあるホーム画面へ



クリック4 資料検索



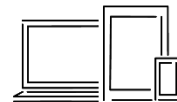
2. すっきり見やすく

クラウド型システムの利点である機能の改善や追加。〈I.B.MUSEUM SaaS〉では、時代の趨勢に合わせて、そして何よりも皆様のご要望にお応えする形で、大小さまざまなアップデートを繰り返してきました。なにぶん10年余の歳月を積み重ねてきましたので、細かいものまで拾い上げれば、その数は膨大となります。となれば、どこかで交通整理すべき時期がやってくるのも必然です。また、前述の通り、サービス開始当時と現在ではIT活用環境が大きく変化しましたが、中でも見過ごせないのがディスプレイのサイズや画面解像度の違いです。かつては快適だったものの、ご利用のモニターによってはシステム画面を窮屈に感じることもおありでしょう。

今回のリニューアルでは、「似た機能のボタンをデザイン的にまとめる」「現在の主流であるワイドディスプレイの画面に無駄なく情報を表示する」といった視認性の向上も大きなテーマのひとつです。また、配置を工夫してマウスの移動距離を縮小するなど、操作感や操作時間にまつわる改善にもアプローチしていきます。

併せて、システムのロゴも一新。ミュージアムの「M」をモチーフに、各館がつながる、動き出す様子を表現しました。

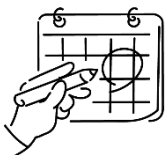
I.B. MUSEUM SaaS



3. デバイスを選ばない

もうひとつのテーマが、「あらゆるデバイスで使いやすいインターフェイス」です。現行の〈I.B.MUSEUM SaaS〉はスマートフォンでもアクセスできますが、画面は最適化されません。拡大・縮小の操作を繰り返せば利用は可能とはいえ、やはり不便。モバイル端末の定着で、いまやどこにいても情報にアクセスできる時代。場所を選ばないのはクラウド型サービスの利点でもありますので、スマホの小さな画面でもできるだけ使いやすい環境づくりを目指します。

スケジュール



第1陣は今年の年末、完了は来年を予定。

それまでの間、進捗と新旧画面を月末にご報告。

2020年の春から始まったリニューアル構想では外部専門家を交えて議論を繰り返し、大方針の決定から各プロセスにおけるインターフェイスの基本思想まで、1年がかりで方向性を固めました。ユーザの皆様のご意見も含めて具体的な画面デザインに落とし込みながら、昨年からはデザインパーツの制作に着手しました。

この後は完成パーツをもとに開発を進め、完成した新インターフェイスは2回に分けて実装するスケジュールで調整しております。第1陣は今年の年末を目処とし、来年に予定する優先度の低い付帯機能や新機能の追加をもって、リニューアルプロジェクトは完了となります。

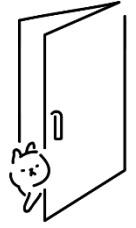
これに併せて、『リニューアル情報EXPRESS』は、完了までの期間限定ニュースレターとして、次のようなスケジュールでお届けする予定です。リニューアルの実施時期ともども、発行スケジュールや内容は現時点での予定となりますが、新画面の操作に備えるためのご参考としていただければ幸いです。

では、さっそく具体的なリニューアル情報を。ログイン画面の改善イメージをお届けいたします。

I.B.MUSEUM SaaS リニューアル情報 EXPRESS 発行予定

Now!	Vol.	発行予定	内容
	Vol.1	2022/1/31	リニューアル計画概要とログイン画面
	Vol.2	2022/2/28	ホーム画面とデザインコンセプト
	Vol.3	2022/3/31	検索トップと検索結果一覧
	Vol.4	2022/4/30	詳細画面の特徴
	Vol.5	2022/5/31	データ登録方法
	Vol.6	2022/6/30	資料利用
	Vol.7	2022/7/31	人物・名簿とメディア
	Vol.8	2022/8/31	公開設定
	Vol.9	2022/9/30	項目設定
	Vol.10	2022/10/31	帳票設定
	Vol.11	2022/11/30	ユーザ管理・一括処理
	Vol.12	2022/12/31	移行方法と並行運用について
	Vol.13	2023/1/31	総集編 (Vol.1からVol.12までを1冊に)

リニューアル情報① ログイン画面



情報量を最小限にして、ログインをもっと素早く。

現在の画面では、システム入り口の扉を開くログインボタンのほか、システムの操作のヒントや付帯情報などをお読みいただけるコンテンツが並んでいます。ユーザであれば有用な情報ばかりではあるのですが、各館へのヒアリングの中では、「内容は便利」としながらも「ボタンがここである必要はない」「別の場所の方がよい」というお声も少なくありませんでした。

「すっきり見やすく」を基本方針とする新デザインでは、ログイン画面はログイン時に必要な情報のみに。使いこなしのための読み物コンテンツは、別に「ヘルプセンター」を作り、トラブルシューティング情報などとともにとまとめることになりました。合わせて、最新情報のご案内リンクも、シンプル&ミニマルな表示となります。



現行のログイン画面



リニューアル後のログイン画面

今回のまとめと次号のお知らせ

このように、リニューアル後のインターフェイスは、より直感的でモダンなビジュアルとなる方向で開発中です。今回は最も簡単なログイン画面のご紹介となりましたが、次号ではログイン後のホーム画面について、新旧を比較しながらお伝えする予定です。

毎月一回発行の『リニューアル情報EXPRESS』では、徐々に階層が深くなり、核的なリニューアル情報をお届けして参りますので、どうぞ楽しみに。



- ※ 掲載スケジュールは、すべて発行時点での予定です。開発の状況により変更となることがございます。
- ※ 掲載のリニューアル画面は開発中のものです。